

日本体育・スポーツ経営学会

2024年度 第2回研究報告会

体育・スポーツ経営学の未来を考える ～経営学における研究方法論の探求～

2000年前後に初めて「行為の経営学」を提唱した沼上幹氏（一橋大学名誉教授）によれば、経営・組織現象では行為者による「意図された結果」のみならず「意図せざる結果」が存在します。そのため、行為者たちがその社会的条件をどのように認識し、その下で何を意図し、どのように行為したのか、さらにその行為を遂行する過程でいかに新たな情報を獲得し、どのように意図を変更したのかについて記述する必要が指摘されています。「行為システム」概念は、行為者による「意図せざる結果」の探究を可能にする研究方法論の柱となっています。

そこで、第2回研究報告会では一般経営学の方法論におけるエポックメイキングとなった「行為システム」という概念の洗練化・精緻化に取り組まれた佐々木将人氏（一橋大学、編著書『「行為の経営学」の新展開』、白桃書房、2023年）をお招きして、「行為システム」概念（沼上幹氏提唱：一橋大学名誉教授）の説明や経営学における研究方法、さらには最新の知見についてお話をうかがう運びとなりました。

本研究報告会では、「行為システム」概念の体育・スポーツ経営学への援用可能性の検討はもちろん、今後必要となる研究課題の整理や研究方法論を洗練するために必要な論点の検討など、今後の研究活動を豊かにする建設的な議論を行いたいと考えておりますので、ぜひご参加ください。

佐々木 将人氏 プロフィール

お申込みはQRコードまたはURLより
お申込期限：2025年1月15日（水）まで

2003年：一橋大学 商学部 卒業
2008年：一橋大学大学院 商学研究科
博士後期課程満期退学
(2011年 博士(商学)取得)
2018年：一橋大学大学院経営管理研究科
准教授 (現在に至る)

参加費無料



https://docs.google.com/forms/d/1KkfYrgVfcbMx4zXXdHFe4wj5CaJweig5_N_v66_H4HE/edit

日時：2025年1月25日（土）14:00-16:00 方法：対面とオンライン
対面会場：早稲田大学早稲田キャンパス7号館206教室

本研究集会は、日本スポーツ体育健康科学学術連合 2024年度後期補助金の助成を受け実施します。